

今後の道路政策の基本的方向 (論点整理)に関する意見とりまとめ方針 (案)

1. インタビュー調査の概要

(1) インタビュー対象者

市町村長、学識経験者、ユーザー団体、道路関係団体、マスコミ関係 計 728名 (予定)

(2) 調査時期

平成 18 年 10 月 ~ 平成 18 年 11 月

(3) 調査内容

インタビュー形式による「今後の道路政策の基本的方向について (論点整理)」等に関する意見収集

< 論点内容 >

A. 新しい道路行政へのポイント

- . 高齢化する道路構造物を戦略的に管理
- . いまの道路を徹底的に活用
- . 地域の人々といっしょに道路や沿道空間を再生
- . 具体的に目標を設定して、スピーディに政策展開

B. 施策展開における主な論点

(1) 安全で安心できる暮らしの実現

道路ストックの適切な管理 防災 減災
交通安全

(2) 景観を良くし、文化を生み出し、環境を守る

景観・文化的価値の創造 観光振興への寄与
沿道環境・地球環境の保全

(3) 都市圏の交通問題への対応と魅力あるまちづくり

都市の交通体系整備 都市空間の整備
渋滞対策

(4) 暮らしのベースとなる道路ネットワーク整備

ネットワーク整備の戦略 道路行政の進め方

2. 今後の分析方針

今後は、以下の分析を行い、取りまとめる予定。

- (1) 論点ごとに施策を意見内容により分析し、「積極的に進めるべき」、「進めるべき」等に分類
- (2) 進めるべきと答えた人の意見内容を分類化し、ヒストグラムとして整理
- (3) 男女別、県別、インタビュー対象グループ別に傾向を分類 整理

3. 分析イメージ

上記分析方針で示した (1)、(2) のイメージは、以下のとおりである。

< B. 施策展開における主な論点 : (1) 安全で安心できる暮らしの実現 「道路ストックの適切な管理」 >

・「積極的に進めるべき」との意見が半数以上を占める。

? その中で具体的に出された意見で最も多いのは、「早期の対応と戦略的な管理による長寿命化」が 3割程度となっている。

次いで、「増加する維持管理予算の強化」が多い。

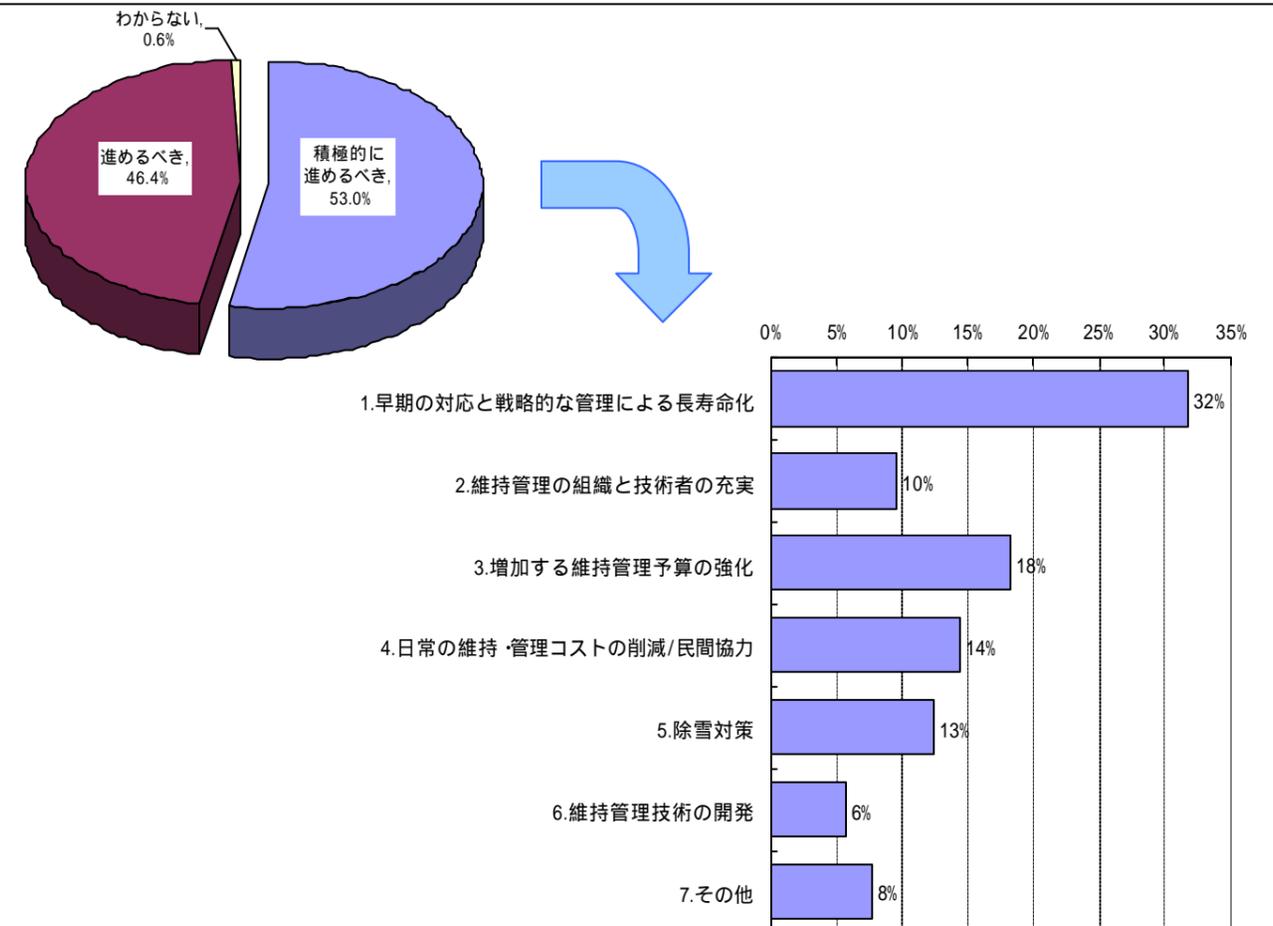


図 道路ストックの適切な管理に対する意見